

シンガポールでの販路開拓プロモーションについて

シンガポールアンテナショップでの販路開拓について

今年4年目を迎えた県産品を扱うアンテナショップは、現地消費者からも好評だったことから、例年よりも開設期間を2ヶ月前倒しし、8月1日にオープンしました。開設場所はこれまで同様、シンガポールの銀座と呼ばれ、数多くの大型ショッピングモールが立ち並ぶ街、オーチャードの中心に位置するタカシマヤショッピングセンター内特設スペース、期間は8月1日から翌年1月31日までの6ヶ月間、当地の消費者に対してダイレクトに石川の魅力を訴求することで、県産品のマーケティングや石川県の認知度向上を図ることとしております。

また、参加企業、商品数は昨年よりも拡大し、75社187商品にわたる食品や伝統的工芸品を取り扱うとともに、オープニングイベントとして、7月の初セリで過去最高となる1房150万円の落札額を記録した石川県産高級ぶどう「ルビーロマン」を初日の8月1日から実店舗にて展示販売し、完売となるほど好評を博しました。購入者からは「ルビーロマンはシンガポールでも高級ブドウとして売られていて、去年はFacebook Liveにてギフト用として購入した。プレゼントした人と一緒に食べてとても美味しかったので今日は家族のために購入する。家族で食べるのを楽しみにしている。」と嬉しいリピート購入のコメントをいただきました。このほか「(アンテナショップではルビーロマンの) 証明書もついていて、安心して購入できる。」と本物を求める消費者の声も伺いました。

さらには、これまでアンテナショップにおいては、常温の食品、伝統的工芸品のみ取り扱っておりましたが、今年度新たに店内に冷蔵及び冷凍設備を設置し、日本の三大産地の一つといわれる石川のスルメイカのほか、フルーツ大福、焼きいなり、かまぼこ製品、みそなど、食品のラインナップを拡充させました。お客様からは「フルーツ大福のパッケージが可愛くて購入した。日本の果物はおいしく、和菓子も美味しいので、融合された大福を食べるのが楽しみ」「産地直送で、解凍後刺身グレードで食べることができる」と聞いて購入した。」など関心の高さが伺えました。

このように拡充した食品や工芸品を通じて石川県に対して興味を持っていただき、石川県へのインバウンドにもつなげて参りたいと考えております。



アンテナショップでの販売の様子



ルビーロマン販売の様子

シンガポールでの石川県地ビールのプロモーション

8月4日にJR東日本がシンガポールで運営するJRcafeにおいて、石川県のクラフトビールの販路拡大を目的とし、より多くの方に飲んでいただく場を提供するため「ISHIKAWA Jibiru Night@JAPAN RAIL CAFÉ」を開催しました。当イベントはリアル会場であるシンガポールJRcafeとFacebook、YouTubeへのオンライン配信を組み合わせたハイブリットイベントで開催し、現地会場では早々に満席となるほど盛り上がりしました。

当日は石川県の観光・地場産品のPRをプレゼンテーションしたほか、クラフトビール石川協同組合の紹介を行うとともに、石川県の地ビールメーカーとシンガポールをオンラインでつなぎ、シンガポールからの質問に対し、企業が直接回答するなど、双方向でのコミュニケーションを通じて、石川県の地ビールについて学んでいただきました。

また、文化発信として、実際に金箔を使った体験も同会場で行い、食と文化の両面で石川県の魅力発信を行いました。コロナ前に石川県に旅行に来られた方も参加されていて「(今日のイベントに参加して)石川県へ旅行に行った思い出が非常に懐かしい。また石川に旅行したい」とビール片手に話してくれました。

当日参加できなかった方からも、「(JRcafe店舗でのクラフトビールの提供は8月1日から31日までなので)期間中に石川県のビールを飲みに行きたい」と嬉しいメッセージをいただきました。地ビールの提供は8月いっぱい行なっており、こうした取り組みを通じて一人でも多くのシンガポリアンに飲んでいただき、石川県を知っていただけるよう引き続きPRして参りたいと考えております。



石川県のブルワリーメーカーとオンラインで繋いで乾杯する様子



王冠のひゃくまんさんに興味を持って調べる参加者